

令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	34	学校名	静岡県立静岡高等学校定時制	記載者	志村 剛和
------	----	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	学校・保護者・社会が協力して、生徒を育てる環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒個々の情報を把握することで、指導の足並みを揃える。 ・生徒との二者面談は100%、保護者との三者面談は90%以上実施する。 ・家庭における生徒と保護者の会話が增加する。 ・生徒情報の共有が計られ、より良い連携が図られる。 ・話しやすい、相談しやすい雰囲気とを感じる生徒数が増加する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側が家庭との連携をどの程度行えているかの評価は、定量化しにくい課題ですが、日々の努力が報われ、着実に良い環境ができつつあると思う。 ・教員が生徒理解と家庭との連携を十分に図ることができた点を高く評価する。 ・何よりも生徒全員が登校していることは、素晴らしいと思う。 ・今後も、保護者が体育祭など学校行事を見学する機会を設けるなど、家庭との信頼関係を築く取組に期待する。
イ	わかりやすい授業の展開により、基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解することで、学ぶことの楽しさを感じ、あきらめない姿勢を身につける。授業がわかると回答する生徒の人数を70%以上にする。 ・全員が2回以上は合格する。 ・年度当初にくらべて、基礎学力の向上があったと実感できる生徒を80%以上にする。 ・自らが課題を設定し、情報を整理し、考えをまとめ、発表できるようにする。また、物事に対する視野を広げる。 ・生徒の学習意欲が向上し、主体的に授業に参加する場面が増える。 ・年2回の授業評価で、生徒の授業への関心度の高まりが確認できる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケート結果からもよい成果が出ていると思う。 ・授業が分かり易く興味が持てると回答する生徒が非常に高く、iPad、プロジェクタ等のICT機器を活用したり、探究学習に取り組んだ成果が表れたものとして評価できる。 ・授業参観からも、ジグソー法を取り入れた授業や「印高基礎」（学び直しの授業）など、教員のやる気と工夫が感じられた。 ・まだまだ生徒のアウトプットが少ない気もしたが、授業改革が着実に進んでいると実感した。 ・今後も地道に、基礎学力の向上・定着を図り、生徒の主体的な学びに発展することを期待する。 ・生徒が熱心に伸び伸びと授業を受けており、今後更に飛躍が期待できる。

ウ	<p>言葉を大切にする姿勢と自分の行動に責任を持つ姿勢を育み、社会性を醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業、学校行事、集会などを通じて、場に応じた適切な言葉を使える生徒が増える。 ・コミュニケーションを通して、良好な人間関係を築くことができる。 ・スマホ等の正しい使用法や主権者としての意識が高まる。 ・場に応じた態度やマナーを学校生活、社会生活で活用できる。 ・学校行事の意義を理解し自分の役割を認識して、主体的に行事を運営することで、自己肯定感・自己有用感を高める。 ・生徒が互いの意見や行動を認めるとともに、自分の意見を他者に伝え、責任をもった行動ができるようになる。 ・自分の生活を振り返り、見通しを立てることで成長を実感し、次への目標を明確にできるようにする。 ・日頃の活動や大会等の参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的实践力を身につける。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いや場に応じた態度やマナーも大変重要項目ですので、更なる適正化を期待します。 ・授業中の生徒と教師の会話は、仕事場での会話レベル、Social な立場レベルの会話の必要性を感じます。 ・他者の尊重、言葉を大切にする習慣が少しずつ身につけている様子が窺えて嬉しく思う。日々の指導に加え、SST、主権者教育講座、情報モラル講座の実施が、生徒にとって効果的であったと感じる。 ・生徒の自己肯定感を高めて、主体的に行動がとれるように指導するのは、とても根気がいることだと思うが、生徒の変容を信じて、熱意と愛情を持って取り組んでいただきたい。
エ	<p>年次ごとの体系的なキャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、進路目標が明確な生徒数が増加する。 ・自己理解を深め、進路実現に向けた行動を取ることのできる生徒数が増加する。 ・進路意識の向上とともに、就職希望者の内定率 100%を達成する。 ・全学年のハローワーク等外部機関への登録 80%以上となる。 ・就職希望者のアルバイトによる就労率 80%以上となる。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制におけるキャリア教育の重要性を再認識して、達成率の更なる向上を期待します。 ・進路目標が明確な生徒の割合が高く、4年生の就職内定率も高い状況は評価できるが、まだまだ体系的なキャリア教育は成されていないということなので、その点、今後の課題としたい。できたら、高い目標に挑戦する生徒が増えてくれると嬉しい。 ・卒業生の各就職先での活躍・評判が、社会からの信頼に結び付き、在校生の就職先の確保や拡大に繋がっていくものだと思うので、社会に通用する資質を着実に身につける指導は大切である。

様式第 5 号

<p>オ</p>	<p>生徒・教職員の心身の健康の保持、増進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び教員の交通事故 0 件を達成する。 ・校外外における地震、火災等の際の避難方法を生徒・職員が完全に理解する。 ・薬物や飲酒、喫煙など身体的影響に関する理解率が向上する。 ・いじめや体罰が起こりにくい、許さない環境にすることで、いじめの早期発見に努め、いじめによる生徒指導件数 0 件を達成する。 ・勧告を受けた生徒の受診率 100%にする。 ・発達段階や偏り、成育歴などの多様性に応じた指導・支援の充実により、早期対応・早期解決を図る。 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の保持、増進についても大変重要な項目であり、引き続き維持及び向上に努めていただきたい。 ・重大な事故、生徒指導案件がなく、安全な学校生活・登下校が確保できた点は高く評価できる。 ・特別な支援が必要な生徒・家庭に対して、外部機関や S S W との連携、巡回通級教室、学び直し補習等を活用して、生徒に応じた支援が機能している点も評価できる。
<p>カ</p>	<p>業務改善を進め、職員が働きやすい環境への改革を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年間の行事のねらいが重複するものについては、実施方法を変更もしくは廃止し、行事の精選を図る。 ・ペーパーレス、打合せ時間を短縮する。 ・業務に支障がない場合は、積極的に休暇を取得する。 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の推進及び働きやすい環境への働き方改革は、社会の流れに遅れないように推進していただきたいと思う。 ・勤務時間をはじめとして、多くの制約がある中でよくやっていたらと思う。 ・コロナ禍をきっかけにして、何が定時制にとって必要なのか。生徒・教員にとって必要度の高い業務を精選する機会となることを切望する。「やめる・減らす・見直す」がキーワードとなると思うので、その積極的な推進を望む。